

船舶インシデント調査報告書

令和元年9月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	座洲
発生日時	令和元年5月4日 14時00分ごろ
発生場所	広島県尾道糸崎港 尾道大橋橋梁灯（R1灯）から真方位093°1海里付近 （概位 北緯34°24.5′ 東経133°14.2′）
インシデントの概要	プレジャーヨットプレアデスⅢは、南進中、浅所に座洲した。
インシデント調査の経過	令和元年5月16日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーヨット プレアデスⅢ、5トン未満（長さ8.44m） 240-25611 広島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、船長が同乗者に 尾道糸崎港にある山波 ^{さんば} の州と称する干出浜を見せようと思い、機走に より南進中、浅所に座洲した。 本船の喫水は、船首が約0.5m、センターキール下端及び船尾が 約1.5mであった。 船長は、座洲した場所付近に浅所があることは知っていたが、その 拡張状況までは知らなかった。
分析	本船は、南進中、船長が、浅所の拡張状況を知らなかったことから、浅所に座洲したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、南進中、船長が、浅所の拡張状況を知らなかったため、浅所に座洲したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅所付近を航行する際は、事前に海図等で水路の状況を十分に調査すること。